

九州のなかま

2008 - 31

平和特集:NO.6

発行日 : 2009年8月10日(月)

発行者 : 生協労連 九州地連

原水爆禁止 2009 年世界大会

核兵器のない平和で公正な世界を!

原水爆禁止2009年世界大会・長崎は8月7日(金)から9日(日)まで、長崎市を中心に開会総会、分科会、閉会総会が行われました。9日(日)の閉会総会では、生協労連も登壇、代表して京都生協労組の沓脱さんが、この間の取り組みを報告し、平和のたいせつさを訴えました。

2010年5月のNPT再検討会議に向けて、草の根から核兵器廃絶の大きなうねりをつくりだそうと7,800人の参加者で確認しました。また、「被爆国の私たちが核兵器廃絶を求める世論と運動を巻き起こす時だ」、とした長崎決議と核兵器全面禁止・廃絶条約の締結のために行動するように国連や世界各国に求める特別決議を拍手で採択しました。



平和のための生協労働者のつどいinナガサキ



8月8日(土)16:00 長崎爆心地公園に全国の生協のなかま(100余人)が集いました。今年は10のグループに分かれて「碑めぐり」を行い、ララコープのガイドの方の説明に参加者たちは熱心に耳を傾けていました。長崎は坂の街、汗だくになりながら浦上天主堂、如己堂、山里小学校、原爆資料館と回りました。3日間の大会や集いを通じて、核兵器のない平和な世界を築いていくために訴え続けてきた「人類と核は共存しない」、「核兵器のない世界」をめざす世論の波が大きなうねりとなっていることを確信しました。

お願い：平和関連の取組み 他の情報を地連まで FAX : 092-947-9193